

芦屋市転入に関するアンケート調査 報告書

2024年9月

《 目 次 》

I. 調査の目的と概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計	1
(1) 実施時期	1
(2) 対象者	1
(3) 回答方法・回答者数	1
(4) その他	1
(5) 留意事項	1
II. アンケート調査結果	2
1. 回答者属性	2
(1) 年代	2
(2) 家族構成	3
(3) 同居の子どもの属性	4
2. 転入に関する質問	5
(1) 転入前の居住地	5
(2) 転入のきっかけ	6
(3) 転入を検討した市区町村の有無	9
(4) 転入を検討した市区町村	11
(5) 引っ越し先を選択するとき重視した項目	13
(6) 転入を決めたとき重視した項目	18
(7) 情報の入手先	23
(8) 芦屋市のまちづくり全般について、期待すること	24
III. 添付資料	26

I. 調査の目的と概要

1. 調査の目的

芦屋市に新たに転入された方を対象に、居住のきっかけやお住まいを選ばれるときの関心事項などについて調査を実施し、今後の市政運営やまちづくりに活用することを目的として実施した。

2. 調査設計

(1) 実施時期

令和5年6月1日（木）～令和6年3月31日（日）

※配布は、令和6年3月29日（金）まで

(2) 対象者

上記期間に新たに芦屋市に転入して来られた方

(3) 回答方法・回答者数

回答方法：市民課の窓口で配布し、オンラインもしくは窓口にて回収

回答者数：430件

(4) その他

- ・アンケートは無記名で実施。
- ・日本語版以外に、英語・中国語・韓国語・スペイン語版を作成・配布している。

(5) 留意事項

・クロス集計表では、「全体」における割合との比較により、以下のとおり網掛けを行っている。

・全体の値よりも10%以上高い：**0.0**

・全体の値よりも5%以上高い：**0.0**

・全体の値よりも5%以上低い：**0.0**

・全体の値よりも10%以上低い：**0.0**

・小数点第2位以下の四捨五入や無回答のクロス集計からの除外を行っているため、合計は必ずしも100%と一致していない。

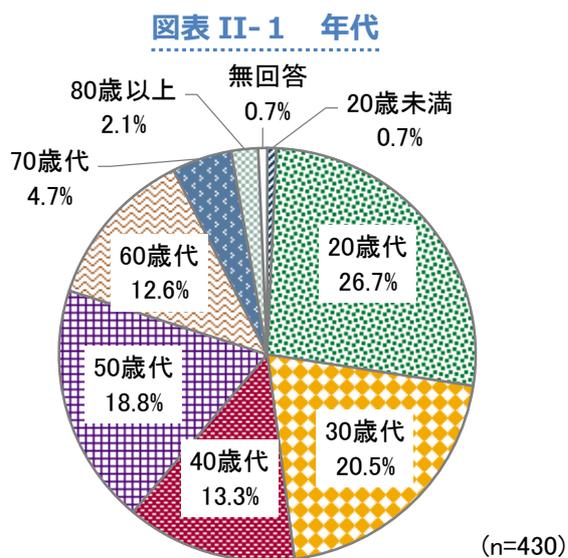
・年代別のクロス集計では、「20歳未満」及び「80歳以上」は回答数が少ないため、それぞれ「20歳代以下」及び「70歳以上」として集計を実施している。

II. アンケート調査結果

1. 回答者属性

(1) 年代

回答者の年代は、「20 歳代」の割合が最も高く 26.7%となっている。次いで、「30 歳代」が 20.5%、「50 歳代」が 18.8%となっている。

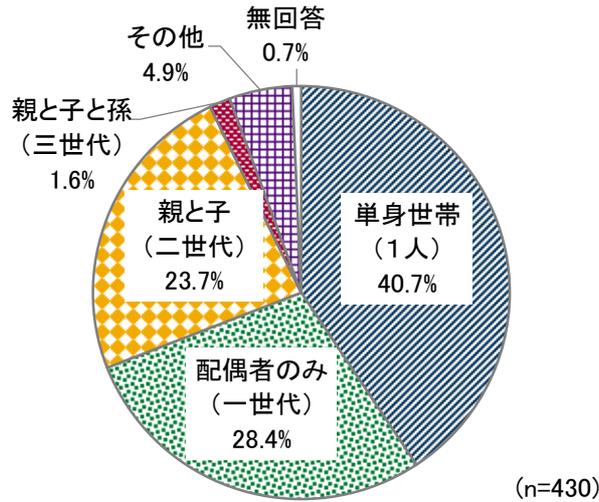


(2) 家族構成

家族構成は、「単身世帯（1人）」の割合が最も高く 40.7%となっている。次いで、「配偶者のみ（一世代）」が 28.4%、「親と子（二世代）」が 23.7%となっている。その他については、「同居人」0.9%、「同棲」0.9%などがあった。

年代別にみると、「20 歳代以下」「70 歳以上」において「単身世帯（1人）」の割合が、「60 歳代」において「配偶者のみ（一世代）」の割合が特に高くなっている。

図表 II-2 家族構成



図表 II-3 家族構成（年代別）

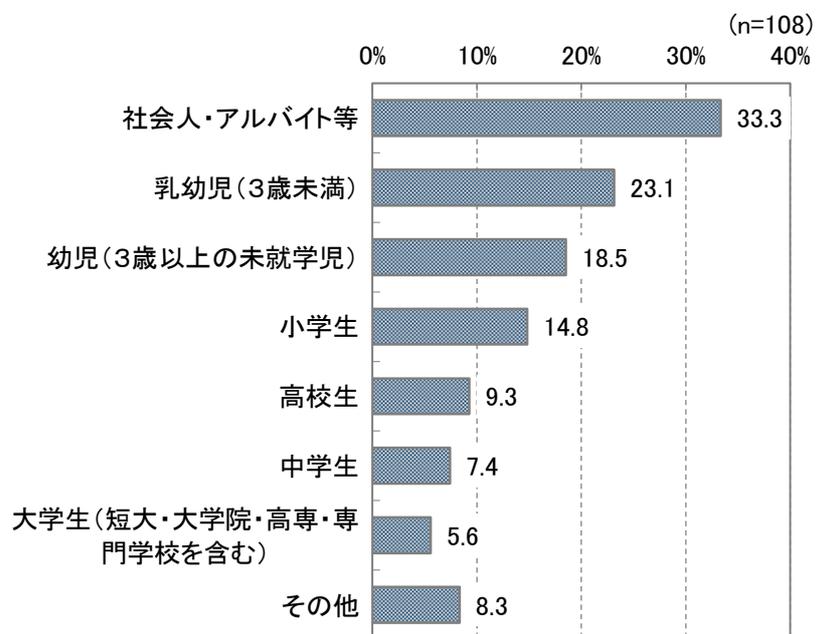
(上段：実数、下段：%)

	調査数	（単身世帯）	（配偶者のみ）	（親と子）	（親と子と孫）	その他	無回答	
		（1人世帯）	（一世代のみ）	（二世代）	（三世代と孫）			
全体	430	175	122	102	7	21	3	
	100.0	40.7	28.4	23.7	1.6	4.9	0.7	
年代別	20歳代以下	118	62	29	17	2	8	0
		100.0	52.5	24.6	14.4	1.7	6.8	0.0
	30歳代	88	31	25	26	0	5	1
		100.0	35.2	28.4	29.5	0.0	5.7	1.1
	40歳代	57	17	18	18	3	1	0
		100.0	29.8	31.6	31.6	5.3	1.8	0.0
	50歳代	81	32	18	26	2	3	0
	100.0	39.5	22.2	32.1	2.5	3.7	0.0	
60歳代	54	18	21	13	0	2	0	
	100.0	33.3	38.9	24.1	0.0	3.7	0.0	
70歳以上	29	15	10	2	0	2	0	
	100.0	51.7	34.5	6.9	0.0	6.9	0.0	

(3) 同居の子どもの属性

同居の子どもの属性は、「社会人・アルバイト等」の割合が最も高く 33.3%となっている。次いで、「乳幼児（3歳未満）」が 23.1%、「幼児（3歳以上の未就学児）」が 18.5%となっている。

図表 II-4 同居の子どもの属性



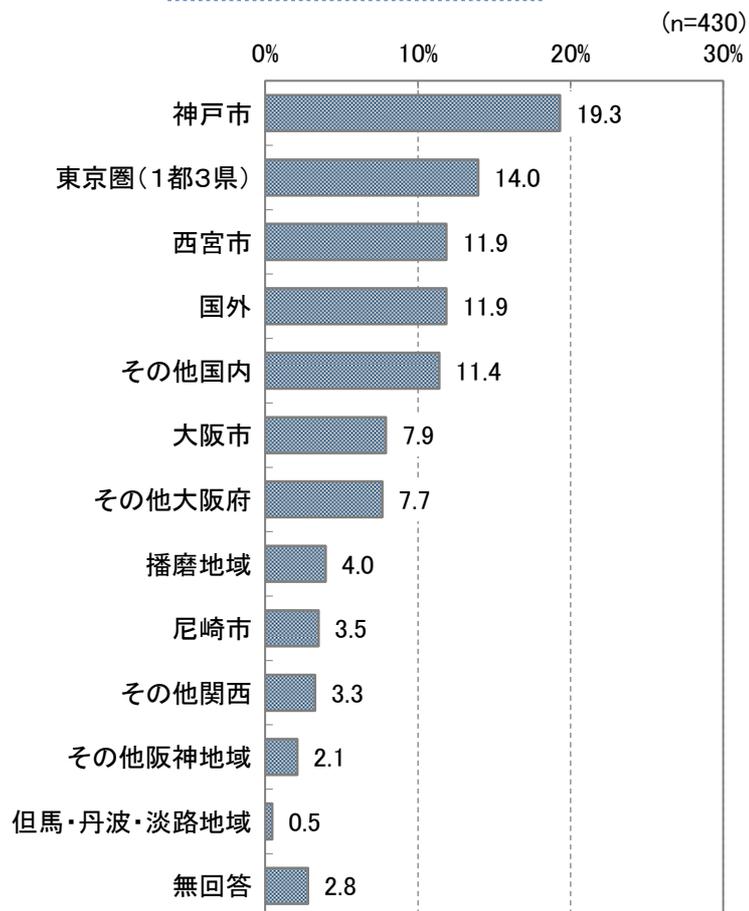
(注) 子どもと同居していない回答者は無回答となるため、無回答者（332件）は子どもがいないものとみなし集計母数から除外した。

2. 転入に関する質問

(1) 転入前の居住地

転入前の居住地は、「神戸市」の割合が最も高く 19.3%となっている。次いで、「東京圏（1都3県）」が 14.0%、「西宮市」が 11.9%、「国外」が 11.9%となっている。

図表 II-5 転入前の居住地



(注) 1都3県とは、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県を指す。

(2) 転入のきっかけ

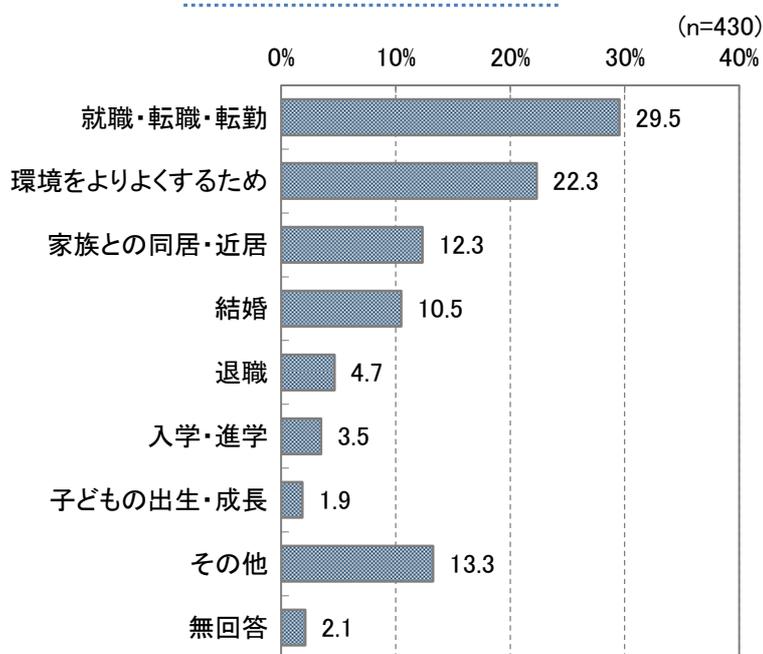
転入のきっかけは、「就職・転職・転勤」の割合が最も高く 29.5%となっている。次いで、「環境をよりよくするため」が 22.3%、「家族との同居・同居」が 12.3%となっている。

年代別にみると、「20 歳代以下」では「就職・転職・転勤」の割合が、「60 歳代」では「家族との同居・近居」「退職」の割合が、「70 歳以上」では「家族との同居・近居」の割合が特に高くなっている。

さらに、単身世帯に絞り込んで年代別にみると、「20 歳代以下」「30 歳代」「40 歳代」では「就職・転職・転勤」の割合が、「40 歳代」「50 歳代」では「環境をよりよくするため」の割合が、「70 歳以上」では「家族との同居・近居」の割合が特に高くなっている。

転入前の居住地別にみると、「神戸市」「西宮市」「尼崎市」から転入された方では「環境をよりよくするため」の割合が、「播磨地域」「尼崎市」から転入された方では「結婚」の割合が、「東京圏（1 都 3 県）」「その他国内」「その他関西」から転入された方では「就職・転職・転勤」の割合が特に高くなっている。

図表 II-6 転入のきっかけ



図表 II-7 転入のきっかけ（年代別）

（上段：実数、下段：％）

	調査数	結婚	子ども 成長の 出生・	近 居 家 族 との 同居・	転 就 勤 職 ・ 転 職 ・	退 職	入 学 ・ 進 学	す 環 境 を よ り よ く す る た め	そ の 他	無 回 答	
全体	430	45	8	53	127	20	15	96	57	9	
	100.0	10.5	1.9	12.3	29.5	4.7	3.5	22.3	13.3	2.1	
年代別	20歳代以下	118	21	2	5	47	3	6	19	13	2
		100.0	17.8	1.7	4.2	39.8	2.5	5.1	16.1	11.0	1.7
	30歳代	88	16	5	8	29	1	2	17	6	4
		100.0	18.2	5.7	9.1	33.0	1.1	2.3	19.3	6.8	4.5
	40歳代	57	5	1	4	20	0	5	16	6	0
		100.0	8.8	1.8	7.0	35.1	0.0	8.8	28.1	10.5	0.0
	50歳代	81	1	0	15	24	3	2	22	13	1
100.0		1.2	0.0	18.5	29.6	3.7	2.5	27.2	16.0	1.2	
60歳代	54	2	0	14	5	9	0	13	11	0	
	100.0	3.7	0.0	25.9	9.3	16.7	0.0	24.1	20.4	0.0	
70歳以上	29	0	0	7	1	4	0	9	6	2	
	100.0	0.0	0.0	24.1	3.4	13.8	0.0	31.0	20.7	6.9	

図表 II-8 転入のきっかけ（単身世帯・年代別）

（上段：実数、下段：％）

	調査数	結婚	子ども 成長の 出生・	近 居 家 族 との 同居・	転 就 勤 職 ・ 転 職 ・	退 職	入 学 ・ 進 学	す 環 境 を よ り よ く す る た め	そ の 他	無 回 答	
全体	430	45	8	53	127	20	15	96	57	9	
	100.0	10.5	1.9	12.3	29.5	4.7	3.5	22.3	13.3	2.1	
単身世帯	175	5	0	13	70	5	5	46	25	6	
	100.0	2.9	0.0	7.4	40.0	2.9	2.9	26.3	14.3	3.4	
単身世帯 × 年代別	20歳代以下	62	2	0	0	38	1	3	13	4	1
		100.0	3.2	0.0	0.0	61.3	1.6	4.8	21.0	6.5	1.6
	30歳代	31	2	0	2	14	1	1	5	3	3
		100.0	6.5	0.0	6.5	45.2	3.2	3.2	16.1	9.7	9.7
	40歳代	17	0	0	0	8	0	1	6	2	0
		100.0	0.0	0.0	0.0	47.1	0.0	5.9	35.3	11.8	0.0
	50歳代	32	1	0	3	8	1	0	13	5	1
100.0		3.1	0.0	9.4	25.0	3.1	0.0	40.6	15.6	3.1	
60歳代	18	0	0	4	1	1	0	5	7	0	
	100.0	0.0	0.0	22.2	5.6	5.6	0.0	27.8	38.9	0.0	
70歳以上	15	0	0	4	1	1	0	4	4	1	
	100.0	0.0	0.0	26.7	6.7	6.7	0.0	26.7	26.7	6.7	

図表 II-9 転入のきっかけ（転入前の居住地別）

（上段：実数、下段：％）

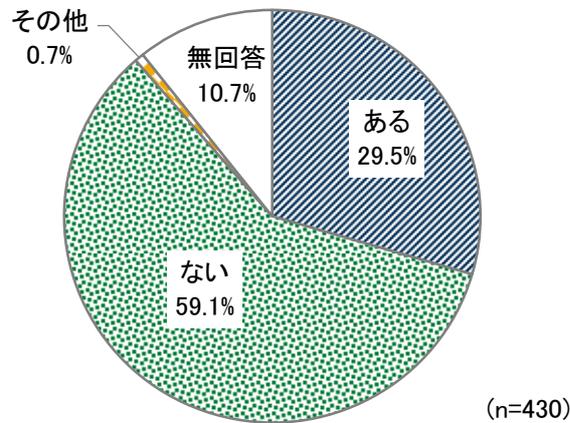
	調査数	結婚	子ども の出生・ 成長	家族 との同居・ 近居	勤就 職・転職・ 転	退職	入学・ 進学	環境を よりよく するため	その他	無 回 答	
全体	430	45	8	53	127	20	15	96	57	9	
	100.0	10.5	1.9	12.3	29.5	4.7	3.5	22.3	13.3	2.1	
転入前の 居住地別	神戸市	83	12	1	11	15	3	1	27	12	1
	100.0	14.5	1.2	13.3	13.1	3.6	1.2	32.5	14.5	1.2	
	東京圏 （1都3県）	60	3	1	6	36	4	1	5	2	2
	100.0	5.0	1.7	10.0	60.0	6.7	1.7	8.3	3.3	3.3	
	西宮市	51	7	3	4	2	0	3	24	7	1
	100.0	13.7	5.9	7.8	3.9	0.0	5.9	47.1	13.7	2.0	
	国外	51	1	1	7	16	3	5	3	13	2
	100.0	2.0	2.0	13.7	31.4	5.9	9.8	5.9	25.5	3.9	
	その他国内	49	2	0	6	31	3	1	4	2	0
	100.0	4.1	0.0	12.2	63.3	6.1	2.0	8.2	4.1	0.0	
	大阪市	34	5	0	6	8	2	1	10	0	2
	100.0	14.7	0.0	17.6	23.5	5.9	2.9	29.4	0.0	5.9	
	その他大阪府	33	3	1	6	4	2	0	10	6	1
	100.0	9.1	3.0	18.2	12.1	6.1	0.0	30.3	18.2	3.0	
	播磨地域	17	4	1	1	4	0	1	1	5	0
	100.0	23.5	5.9	5.9	23.5	0.0	5.9	5.9	29.4	0.0	
	尼崎市	15	6	0	1	1	0	1	5	1	0
	100.0	40.0	0.0	6.7	6.7	0.0	6.7	33.3	6.7	0.0	
	その他関西	14	1	0	2	6	2	0	2	1	0
	100.0	7.1	0.0	14.3	42.9	14.3	0.0	14.3	7.1	0.0	
その他阪神 地域	9	0	0	1	1	0	1	3	3	0	
100.0	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	33.3	33.3	0.0		
但馬・丹波・ 淡路地域	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

(3) 転入を検討した市区町村の有無

転入を検討した市区町村の有無については、「ない」の割合が最も高く 59.1%となっている。次いで、「ある」が 29.5%、「その他」が 0.7%となっている。

芦屋市に転入を決めたとき重視した項目別にみると、「通勤通学などの交通の便が良い」「日常生活の利便性が高い」「災害に強い」「犯罪件数や交通事故が少ない」といった項目を重視された方では「ある」の割合が、「自分または家族が生まれ育ったところである」「親や子どもの家に近い」といった項目を重視された方では「ない」の割合が特に高くなっている。

図表 II-10 転入を検討した市区町村の有無



図表 II- 1 1 転入を検討した市区町村の有無（芦屋市に転入を決めたとき重視した項目別）

(上段：実数、下段：%)

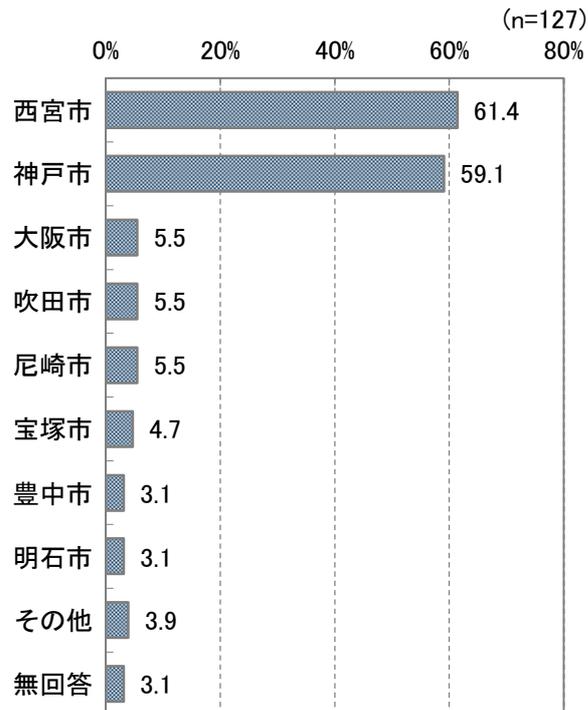
		調査数	ある	ない	その他	無回答
全体		430	127	254	3	46
		100.0	29.5	59.1	0.7	10.7
芦屋市に転入を決めたとき重視した項目別	自然環境が豊か	88	25	60	1	2
		100.0	28.4	68.2	1.1	2.3
	まちなみが美しい	125	49	75	0	1
		100.0	39.2	60.0	0.0	0.8
	通勤通学などの交通の便が良い	133	62	70	0	1
		100.0	46.6	52.6	0.0	0.8
	日常生活の利便性が高い	70	34	36	0	0
		100.0	48.6	51.4	0.0	0.0
	災害に強い	8	3	5	0	0
		100.0	37.5	62.5	0.0	0.0
	犯罪件数や交通事故が少ない	45	19	24	2	0
		100.0	42.2	53.3	4.4	0.0
	物価や住居費が安い	7	4	3	0	0
		100.0	57.1	42.9	0.0	0.0
	子育て支援施策が充実している	4	1	3	0	0
		100.0	25.0	75.0	0.0	0.0
	働きながら子育てできる環境が整っている	1	1	0	0	0
		100.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	教育環境が充実している	7	2	4	0	1
		100.0	28.6	57.1	0.0	14.3
福祉サービスが充実している	3	0	3	0	0	
	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	
地域イメージが良い	123	57	64	0	2	
	100.0	46.3	52.0	0.0	1.6	
自分または家族が生まれ育ったところである	62	9	53	0	0	
	100.0	14.5	85.5	0.0	0.0	
親や子どもの家に近い	61	10	51	0	0	
	100.0	16.4	83.6	0.0	0.0	
住居を購入した	53	18	34	0	1	
	100.0	34.0	64.2	0.0	1.9	
その他	17	6	10	1	0	
	100.0	35.3	58.8	5.9	0.0	

(4) 転入を検討した市区町村

転入を検討した市区町村としては、「西宮市」の割合が最も高く 61.4%となっている。次いで、「神戸市」が 59.1%、「大阪市」が 5.5%、「吹田市」が 5.5%、「尼崎市」が 5.5%となっている。

転入前の居住地別にみると、転入前の居住地と同じところを検討している割合が高くなっている。「東京圏（1都3県）」では「西宮市」の割合が特に高くなっている。

図表 II- 1 2 転入を検討した市区町村



図表 II- 1 3 転入を検討した市区町村（転入前の居住地別）

（上段：実数、下段：％）

		調査数	西宮市	神戸市	大阪市	吹田市	尼崎市	宝塚市	豊中市	明石市	その他	無回答
全体		127	78	75	7	7	7	6	4	4	5	4
		100.0	61.4	59.1	5.5	5.5	5.5	4.7	3.1	3.1	3.9	3.1
転入前の居住地別	神戸市	35	19	25	0	1	3	1	0	0	1	2
		100.0	54.3	71.4	0.0	2.9	8.6	2.9	0.0	0.0	2.9	5.7
	東京圏（1都3県）	19	15	12	0	2	2	1	1	1	0	0
		100.0	78.9	63.2	0.0	10.5	10.5	5.3	5.3	5.3	0.0	0.0
	西宮市	18	14	6	1	0	0	1	0	2	1	0
		100.0	77.8	33.3	5.6	0.0	0.0	5.6	0.0	11.1	5.6	0.0
	国外	6	3	3	0	1	1	0	0	0	0	1
		100.0	50.0	50.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
	その他国内	10	6	8	1	0	0	0	1	1	1	0
		100.0	60.0	80.0	10.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0
	大阪市	10	6	7	0	1	0	1	1	0	1	0
		100.0	60.0	70.0	0.0	10.0	0.0	10.0	10.0	0.0	5.6	0.0
	その他大阪府	9	3	2	3	2	0	1	1	0	1	0
		100.0	33.3	22.2	33.3	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	16.7	0.0
	播磨地域	8	6	5	1	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	75.0	62.5	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
尼崎市	6	3	2	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	
その他関西	2	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	
	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	
その他阪神地域	2	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	
	100.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
但馬・丹波・淡路地域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	

(5) 引っ越し先を選択するとき重視した項目

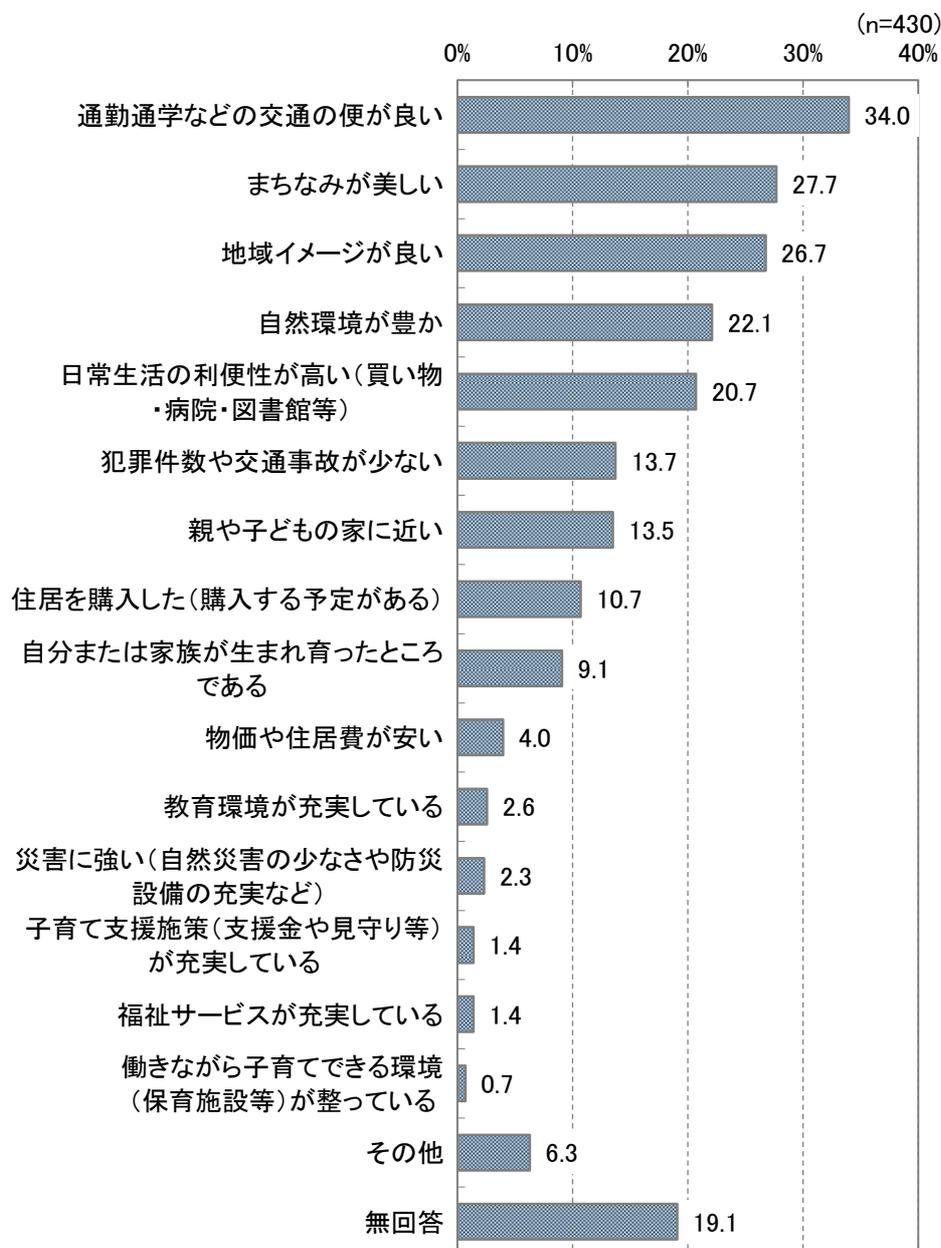
引っ越し先を選択するとき重視した項目は、「通勤通学などの交通の便が良い」の割合が最も高く34.0%となっている。次いで、「まちなみが美しい」が27.7%、「地域イメージが良い」が26.7%となっている。

年代別にみると、「20歳代以下」では「通勤通学などの交通の便が良い」の割合が、「60歳代」では「自然環境が豊か」の割合が、「70歳以上」では「親や子どもの家に近い」の割合が特に高くなっている。

転入のきっかけ別にみると、「結婚」をきっかけとする転入では「通勤通学などの交通の便が良い」「犯罪件数や交通事故が少ない」「地域イメージが良い」の割合が、「退職」をきっかけとする転入では「自然環境が豊か」の割合が、「環境をよりよくするため」をきっかけとする転入では「まちなみが美しい」「住居を購入した（購入する予定がある）」の割合が特に高くなっている。

転入前の居住地別にみると、「神戸市」「西宮市」からの転入では「通勤通学などの交通の便が良い」の割合が、「その他大阪府」「播磨地域」からの転入では「地域イメージが良い」の割合が、「尼崎市」からの転入では「自分または家族が生まれ育ったところである」「親や子どもの家に近い」の割合が、「その他関西」からの転入では「まちなみが美しい」「地域イメージが良い」の割合が特に高くなっている。

図表 II-14 引っ越し先を選択するとき重視した項目



図表 II-1 6 引っ越し先を選択するとき重視した項目（転入のきっかけ別）

（上段：実数、下段：％）

	調査数	自然環境が豊か	まちなみが美しい	通勤通学などの交通の便が良い	院高日常備害災が犯罪物が物価や住居費が安い	害の少ない（自然災害に強い）	が犯罪件数や交通事故が少ない	物価や住居費が安い	充実している	子育て支援策（保育施設等）が整っている	働きながら子育てできる環境（保育施設等）が整っている
全体	430	95	119	146	89	10	59	17	6	3	
	100.0	22.1	27.7	34.0	20.7	2.3	13.7	4.0	1.4	0.7	
転入のきっかけ別	結婚	45	3	9	21	10	0	11	1	0	1
		100.0	6.7	20.0	46.7	22.2	0.0	24.4	2.2	0.0	2.2
	子どもの出生・成長	8	1	2	2	0	0	1	0	1	1
		100.0	12.5	25.0	25.0	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5
	家族との同居・近居	53	6	10	12	7	2	6	1	2	0
		100.0	11.3	18.9	22.6	13.2	3.8	11.3	1.9	3.8	0.0
	就職・転職・転勤	127	33	40	57	34	4	17	12	3	1
		100.0	26.0	31.5	44.9	26.8	3.1	13.4	9.4	2.4	0.8
	退職	20	7	6	2	3	0	1	1	0	0
		100.0	35.0	30.0	10.0	15.0	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0
入学・進学	15	2	2	6	4	0	1	0	0	0	
	100.0	13.3	13.3	40.0	26.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	
環境をよりよくするため	96	29	37	33	19	3	16	1	0	0	
	100.0	30.2	38.5	34.4	19.8	3.1	16.7	1.0	0.0	0.0	
その他	57	13	12	12	11	1	6	1	0	0	
	100.0	22.8	21.1	21.1	19.3	1.8	10.5	1.8	0.0	0.0	

	いる教育環境が充実して	福祉サービスが充実	地域イメージが良い	ある自分または家族が生まれたところ	い親や子どもの家に近い	住居を購入した（購入予定がある）	その他	無回答
全体	11	6	115	39	58	46	27	82
	2.6	1.4	26.7	9.1	13.5	10.7	6.3	19.1
転入のきっかけ別	結婚	1	0	19	2	8	2	7
		2.2	0.0	42.2	4.4	17.8	4.4	15.6
	子どもの出生・成長	1	0	1	1	4	1	2
		12.5	0.0	12.5	12.5	50.0	12.5	25.0
	家族との同居・近居	1	0	13	10	16	4	11
		1.9	0.0	24.5	18.9	30.2	7.5	20.8
	就職・転職・転勤	2	3	27	12	15	7	14
		1.6	2.4	21.3	9.4	11.8	5.5	11.0
	退職	0	1	7	3	3	1	7
		0.0	5.0	35.0	15.0	15.0	5.0	35.0
入学・進学	1	0	3	1	1	1	2	5
	6.7	0.0	20.0	6.7	6.7	6.7	13.3	33.3
環境をよりよくするため	0	1	31	8	5	26	4	13
	0.0	1.0	32.3	8.3	5.2	27.1	4.2	13.5
その他	5	1	14	2	3	3	7	18
	8.8	1.8	24.6	3.5	5.3	5.3	12.3	31.6

図表 II-1 7 引っ越し先を選択するとき重視した項目（転入前の居住地別）

（上段：実数、下段：％）

	調査数	自然環境が豊か	まちなみが美しい	通勤通学などの交通の便が良い	高い生活の利便性（図書館等）	災害に強い（防災設備の充実など）	犯罪件数や交通事故が少ない	物価や住居費が安い	子育て支援策（支援金や見守り等）が充実している	働きながら子育てできる環境（保育施設等）が整っている
全体	430	95	119	146	89	10	59	17	6	3
	100.0	22.1	27.7	34.0	20.7	2.3	13.7	4.0	1.4	0.7
転入前の居住地別	神戸市	83	18	28	38	22	0	13	3	0
		100.0	21.7	33.7	45.8	26.5	0.0	15.7	3.6	1.2
	東京圏（1都3県）	60	19	20	24	9	1	9	8	2
		100.0	31.7	33.3	40.0	15.0	1.7	15.0	13.3	3.3
	西宮市	51	9	14	23	15	4	7	0	1
		100.0	17.6	27.5	45.1	29.4	7.8	13.7	0.0	2.0
	国外	51	9	7	9	8	1	4	2	1
		100.0	17.6	13.7	17.6	15.7	2.0	7.8	3.9	2.0
	その他国内	49	12	16	13	13	0	5	2	0
		100.0	24.5	32.7	26.5	26.5	0.0	10.2	4.1	0.0
	大阪市	34	8	9	11	3	1	7	0	1
		100.0	23.5	26.5	32.4	8.8	2.9	20.6	0.0	2.9
	その他大阪府	33	8	7	10	7	0	2	1	0
		100.0	24.2	21.2	30.3	21.2	0.0	6.1	3.0	0.0
	播磨地域	17	4	5	6	3	0	2	0	0
		100.0	23.5	29.4	35.3	17.6	0.0	11.8	0.0	0.0
	尼崎市	15	2	3	5	2	1	5	0	0
		100.0	13.3	20.0	33.3	13.3	6.7	33.3	0.0	0.0
	その他関西	14	4	7	4	2	1	1	0	0
	100.0	28.6	50.0	28.6	14.3	7.1	7.1	0.0	0.0	
その他阪神地域	9	1	1	0	1	1	0	1	0	
	100.0	11.1	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	
但馬・丹波・淡路地域	2	0	0	0	0	0	1	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	

	教育環境が充実している	福祉サービスが充実している	地域イメージが良い	自分または家族が生まれたところである	親や子どもの家に近い	住居を購入した（購入予定がある）	その他	無回答
全体	11	6	115	39	58	46	27	82
	2.6	1.4	26.7	9.1	13.5	10.7	6.3	19.1
転入前の居住地別	神戸市	1	0	25	4	9	16	4
		1.2	0.0	30.1	4.8	10.8	19.3	4.8
	東京圏（1都3県）	1	2	15	7	9	3	4
		1.7	3.3	25.0	11.7	15.0	5.0	6.7
	西宮市	1	0	12	3	8	8	2
		2.0	0.0	23.5	5.9	15.7	15.7	3.9
	国外	4	3	3	6	6	5	4
		7.8	5.9	5.9	11.8	11.8	9.8	7.8
	その他国内	1	0	13	6	8	3	7
		2.0	0.0	26.5	12.2	16.3	6.1	14.3
	大阪市	0	0	10	3	4	2	0
		0.0	0.0	29.4	8.8	11.8	5.9	0.0
	その他大阪府	0	0	13	2	5	3	4
		0.0	0.0	39.4	6.1	15.2	9.1	12.1
	播磨地域	1	1	7	0	1	2	0
		5.9	5.9	41.2	0.0	5.9	11.8	0.0
	尼崎市	0	0	4	4	4	3	1
		0.0	0.0	26.7	26.7	26.7	20.0	6.7
	その他関西	0	0	6	1	0	0	0
	0.0	0.0	42.9	7.1	0.0	0.0	0.0	
その他阪神地域	0	0	3	1	1	1	1	
	0.0	0.0	33.3	11.1	11.1	11.1	33.3	
但馬・丹波・淡路地域	0	0	1	0	1	0	0	
	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	

(6) 転入を決めたとき重視した項目

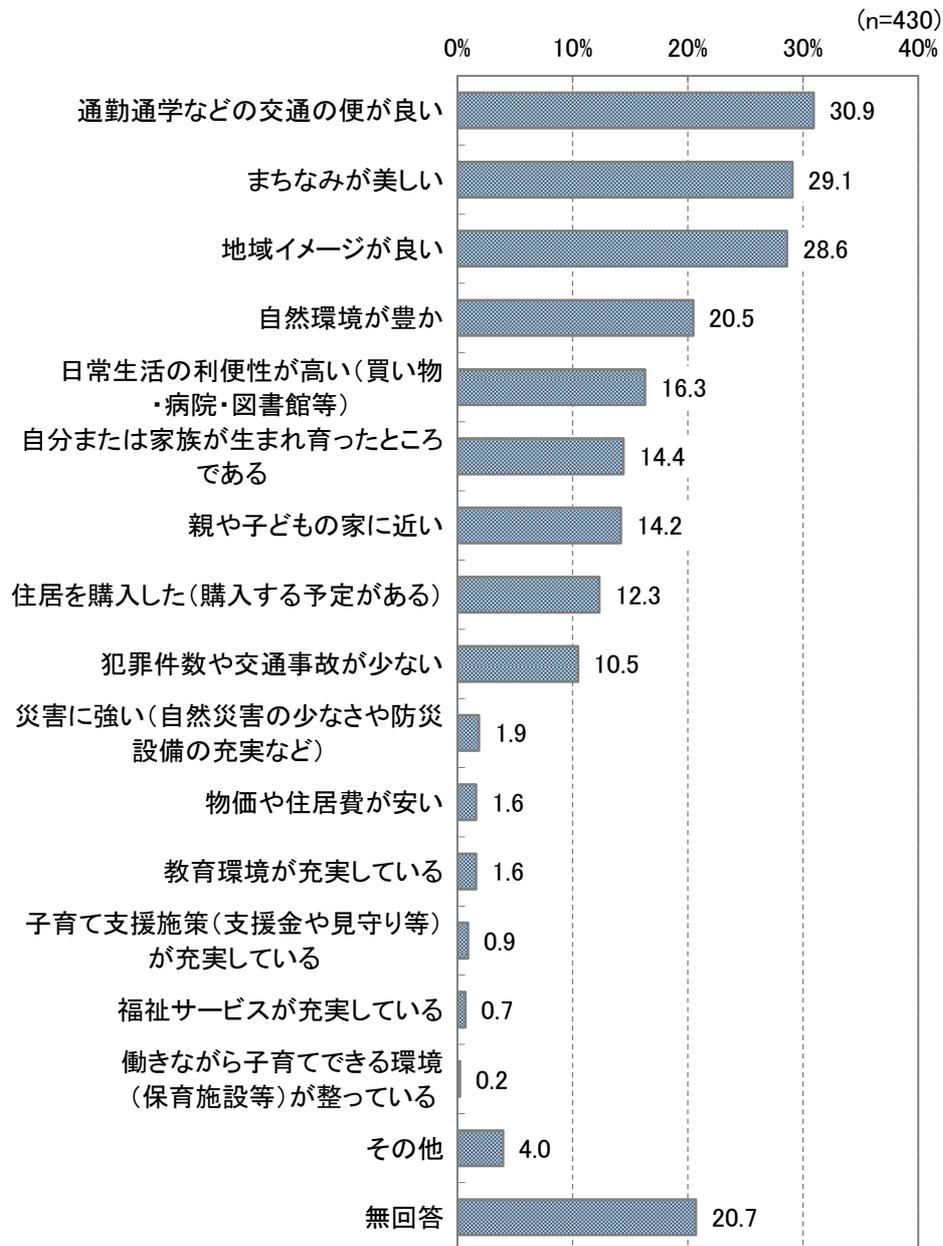
芦屋市に転入を決めたとき重視した項目は、「通勤通学などの交通の便が良い」の割合が最も高く30.9%となっている。次いで、「まちなみが美しい」が29.1%、「地域イメージが良い」が28.6%となっている。

年代別にみると、「20歳代以下」では「通勤通学などの交通の便が良い」の割合が、「60歳代」では「自然環境が豊か」の割合が特に高くなっている。

転入のきっかけ別にみると、「結婚」をきっかけとする転入では「通勤通学などの交通の便が良い」「地域イメージが良い」の割合が、「就職・転職・転勤」をきっかけとする転入では「通勤通学などの交通の便が良い」の割合が、「退職」をきっかけとする転入では「自然環境が豊か」「自分または家族が生まれ育ったところである」の割合が、「環境をよりよくするため」をきっかけとする転入では「住居を購入した（購入する予定がある）」の割合が特に高くなっている。

転入前の居住地別にみると、「神戸市」「播磨地域」からの転入では「通勤通学などの交通の便が良い」の割合が、「東京圏（1都3県）」からの転入では「自然環境が豊か」の割合が、「尼崎市」からの転入では「まちなみが美しい」「自分または家族が生まれ育ったところである」「親や子どもの家に近い」の割合が、「その他国内」「その他関西」からの転入では「地域イメージが良い」の割合が特に高くなっている。

図表 II-18 転入を決めたとき重視した項目



図表 II-19 転入を決めたとき重視した項目（年代別）

（上段：実数、下段：％）

	調査数	自然環境が豊か	まちなみが美しい	の通勤通学などの交通	院高日備害災 ・い常のの少に強 ・図書買の利便性病が 館等）・物・性病が	害の充 の少 の充 の充	災の少 に強 い（ 自然 災	が犯罪 件数 や交 通事 故	物価 や住 居費 が安 い	充 実 し て い る	子 育 て 支 援 施 策 （ 支	等 ） が 整 つ て い る	働 き な が ら 子 育 て で							
														全体	20歳代以下	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
全体	430	88	125	133	70	8	45	7	4	1	100.0	20.5	29.1	30.9	16.3	1.9	10.5	1.6	0.9	0.2
年代別	20歳代以下	118	17	30	51	17	19	3	1	1	100.0	14.4	25.4	43.2	14.4	0.8	16.1	2.5	0.8	0.8
	30歳代	88	16	30	25	13	11	2	2	0	100.0	18.2	34.1	28.4	14.8	2.3	12.5	2.3	2.3	0.0
	40歳代	57	9	12	22	11	5	0	0	0	100.0	15.8	21.1	38.6	19.3	1.8	8.8	0.0	0.0	0.0
	50歳代	81	21	29	17	15	9	2	1	0	100.0	25.9	35.8	21.0	18.5	1.2	11.1	2.5	1.2	0.0
	60歳代	54	19	19	14	11	1	0	0	0	100.0	35.2	35.2	25.9	20.4	3.7	1.9	0.0	0.0	0.0
	70歳以上	29	6	4	4	3	0	0	0	0	100.0	20.7	13.8	13.8	10.3	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0

	い 教 育 環 境 が 充 実 し て	福 祉 サ ー ビ ス が 充 実	地 域 イ メ ー ジ が 良 い	あ ま れ 育 つ た と こ ろ が 生	自 分 ま た は 家 族 が 生	親 や 子 ど も の 家 に 近	住 居 を 購 入 し た あ る （ 購	そ の 他	無 回 答
全体	7	3	123	62	61	53	17	89	
20歳代以下	0	0	35	14	13	3	6	21	
30歳代	4	2	25	14	15	18	1	18	
40歳代	2	1	15	8	12	5	3	11	
50歳代	1	0	26	17	8	16	3	13	
60歳代	0	0	17	6	7	7	4	10	
70歳以上	0	0	4	3	6	3	0	14	

図表 II-2 1 転入を決めたとき重視した項目（転入前の居住地別）

（上段：実数、下段：％）

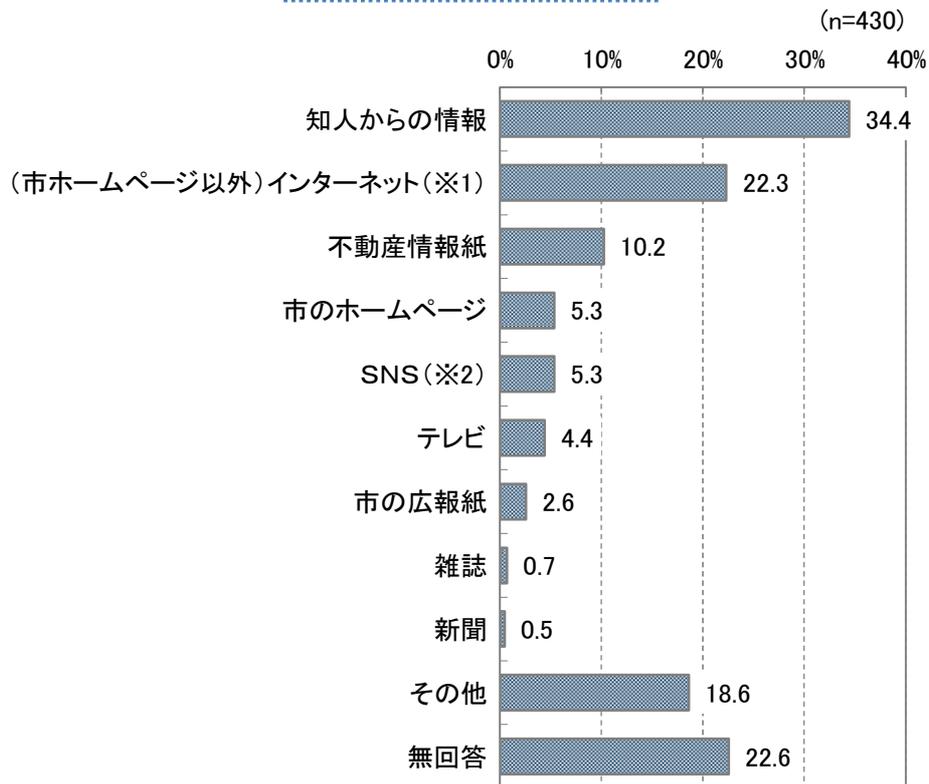
	調査数	自然環境が豊か	まちなみが美しい	通勤通学などの交通の便が良い	高い（図書館等）	日常生活の利便性が	災害の少ない（防災設備の充実など）	犯罪件数や交通事故が少ない	物価や住居費が安い	子育て支援策（支	働きの環境（子育て
全体	430	88	125	133	70	8	45	7	4	1	
	100.0	20.5	29.1	30.9	16.3	1.9	10.5	1.6	0.9	0.2	
転入前の居住地別	神戸市	83	15	21	36	16	1	11	1	0	
	100.0	18.1	25.3	43.4	19.3	1.2	13.3	1.2	1.2	0.0	
	東京圏（1都3県）	60	19	21	20	7	1	4	3	1	
	100.0	31.7	35.0	33.3	11.7	1.7	6.7	5.0	1.7	0.0	
	西宮市	51	10	17	16	13	2	5	0	1	
	100.0	19.6	33.3	31.4	25.5	3.9	9.8	0.0	2.0	0.0	
	国外	51	10	12	9	5	1	5	1	0	
	100.0	19.6	23.5	17.6	9.8	2.0	9.8	2.0	0.0	0.0	
	その他国内	49	13	15	18	7	1	5	2	0	
	100.0	26.5	30.6	36.7	14.3	2.0	10.2	4.1	0.0	0.0	
	大阪市	34	7	9	8	4	0	4	0	0	
	100.0	20.6	26.5	23.5	11.8	0.0	11.8	0.0	0.0	0.0	
	その他大阪府	33	5	9	8	5	0	3	0	0	
	100.0	15.2	27.3	24.2	15.2	0.0	9.1	0.0	0.0	3.0	
	播磨地域	17	3	6	8	4	1	2	0	0	
	100.0	17.6	35.3	47.1	23.5	5.9	11.8	0.0	0.0	0.0	
	尼崎市	15	2	6	4	2	1	4	0	0	
	100.0	13.3	40.0	26.7	13.3	6.7	26.7	0.0	0.0	0.0	
	その他関西	14	2	5	4	3	0	1	0	0	
	100.0	14.3	35.7	28.6	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	
その他阪神地域	9	1	2	0	1	0	0	0	0		
100.0	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
但馬・丹波・淡路地域	2	0	0	0	0	0	0	0	0		
100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	いる教育環境が充実している	福祉サービスが充実している	地域イメージが良い	自分または家族が生まれ育ったところがある	親や子どもの家に近い	住居を購入した（購入予定がある）	その他	無回答
全体	7	3	123	62	61	53	17	89
	1.6	0.7	28.6	14.4	14.2	12.3	4.0	20.7
転入前の居住地別	神戸市	1	1	26	6	10	14	3
	1.2	1.2	31.3	7.2	12.0	16.9	3.6	14.5
	東京圏（1都3県）	0	0	19	11	11	4	2
	0.0	0.0	31.7	18.3	18.3	6.7	3.3	15.0
	西宮市	1	0	15	7	8	11	2
	2.0	0.0	29.4	13.7	15.7	21.6	3.9	17.6
	国外	1	2	6	10	9	8	1
	2.0	3.9	11.8	19.6	17.6	15.7	2.0	33.3
	その他国内	1	0	19	10	6	3	5
	2.0	0.0	38.8	20.4	12.2	6.1	10.2	10.2
	大阪市	1	0	10	4	4	2	1
	2.9	0.0	29.4	11.8	11.8	5.9	2.9	29.4
	その他大阪府	0	0	12	3	6	4	0
	0.0	0.0	36.4	9.1	18.2	12.1	0.0	27.3
	播磨地域	1	0	3	0	0	3	0
	5.9	0.0	17.6	0.0	0.0	17.6	0.0	23.5
	尼崎市	0	0	4	4	4	3	1
	0.0	0.0	26.7	26.7	26.7	20.0	6.7	0.0
	その他関西	0	0	6	1	0	0	1
	0.0	0.0	42.9	7.1	0.0	0.0	7.1	28.6
その他阪神地域	0	0	1	3	0	0	0	
0.0	0.0	11.1	33.3	0.0	0.0	0.0	55.6	
但馬・丹波・淡路地域	0	0	0	0	0	0	0	
0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

(7) 情報の入手先

引っ越し先を選択するとき、芦屋市に転入を決めたとき、重視した項目についての情報の入手先は、「知人からの情報」の割合が最も高く 34.4%となっている。次いで、「（市ホームページ以外）インターネット（※1）」が 22.3%、「不動産情報紙」が 10.2%となっている。その他については、「以前住んでいた」6.3%、「現地に足を運んだ」3.3%などがあった。

図表 II-2 2 情報の入手先



(注) ※1：調査票の選択肢は「3. その他インターネット」である。

※2：調査票の選択肢は「4. SNS (YouTube / Facebook / Instagram / Twitter 等)」である。

(8) 芦屋市のまちづくり全般について、期待すること

今後の芦屋市のまちづくり全般について、期待することなどについて自由記述形式で聞いたところ、芦屋市のまちづくりに期待することとして、子育て支援の充実（22件）、まちなみを維持してほしい（10件）、買い物できる施設を増やしてほしい（7件）などが上位に挙げられた。

図表 II-23 まちづくり全般について期待すること（抜粋）

「子育て・教育」に関する意見(28件)
・ 一人親の子育て支援。
・ 子育て環境を日本一にして欲しい。
・ 子育て支援を充実させてほしい。
・ 保育園の保育料が高いなど、子育て世帯に対する支援が少ないと聞いている。その辺りを改善してほしい。
・ 子育て世代への福祉の拡充。
・ 若い方が市長になり、子育て世代や働く世代への政策が、さらに市民に寄り添ったものになっていくことを期待しています。
・ 図書館をきれいに整備していただきたい。
「福祉健康」に関する意見(10件)
・ 外国人に優しく、または色々な事を生活しやすくして頂けたら嬉しいです。
・ 介護認定する人員が足りず、時間がかかりすぎて結果的にサービスが利用できないため、もう少し迅速に介護サービスを利用できるよう改善してほしい。
・ 福祉サービスをもっと充実させてほしい。クリニックなどもっとあればよいと思う。
「市民生活」に関する意見(34件)
・ 芦屋川の風景が好きなので、芦屋川をきれいに保っていただけると嬉しいです。
・ 街並みの景観の良さ、植物が多く手入れがされていること。
・ 生活が便利で、街並みの美しい芦屋が維持されることを強く願います。それを期待して芦屋市へ転居しました。
・ 可燃以外のゴミ回収頻度が足りない。飲食店や商店が乏しい。
・ 指定ゴミ袋が導入されていて衝撃だった。前みたいに黒のゴミ袋でもOKなままで良かった。
・ 手軽に買い物ができる商業施設(良心的値段のスーパー、ドラッグストア等)が増えてほしい。
・ 安全で環境の良い町であって欲しいと願っています。
・ 継続して、ゴミや歩きタバコなどの禁止をして、まちなみと環境を良くして欲しい。

「安全安心」に関する意見(11件)
安心して住める治安の良いまちづくりを期待します。
何十年前と変わらずいつも綺麗な街並みで安心出来ます。期待するとしたら防犯のため街頭等を増やして欲しいです。暗がりの所がまだまだ多いような気がします。
電線地中化により、対地震安全性と景観を更に向上して頂きたい。
「都市基盤」に関する意見(21件)
・ 駅まで遠く、バスの本数が少ないので、交通網を強化してほしいです。
・ 梅田のような都市部で働いている人にとっても、子どもと一緒に住みやすい街にしてもらいたいです。特急停車駅ということもあり、交通の便はいいと思うので、それ以外のメリットをもっとお願いします。
・ JR 芦屋駅の再開発を早く進めてほしい。
・ 数年前に住んでいた時より駅前施設が充実し、働く世代の忙しい人にもより生活しやすくなったように感じています。このまま生活しやすい街を維持して頂けたらと思います。
・ 再開発はせず、今の街並みを守ってほしい。
「行政経営」に関する意見(15件)
・ Thank you for English-language service available.
・ コンパクトな市なので、全国に先駆けてモデルとして先進的な取り組みをどんどんしてほしい。
・ 転入したばかりでわからない事ばかりですが、手続き担当者の方、案内の方、皆様ご丁寧な方ばかりでしたので安心しました。ステキな方が携わるまちづくりは沢山ステキな面がみられると期待できます。
・ 転入届を出すだけで平日昼間なのに 40 分は待つのは勘弁してほしい。
その他の意見(14件)
・ 市長が若い方になり何かと注目集めています。若者と壮年がより良い街にしてくれたらいいなと願っています。
・ 昔の芦屋の名残を感じたい
・ 富裕層にはやさしいが、庶民に対しては住みづらい市である。

III. 添付資料



芦屋市転入に関するアンケート調査 ご協力のお願い（調査票）



： 芦屋市に転入いただき、厚くお礼申し上げます。

2次元コードをスマートフォン等
で読み取ってご回答ください。

新たに転入された方を対象に、居住のきっかけやお住まいを選ばれるときの
関心事項などについて調査させていただき、今後の市政運営やまちづくりに活
用するため、アンケート調査を実施しております。
ご多忙とは存じますが、ご協力くださいますようお願いいたします。

※このアンケートは無記名で行い、個人が特定されない形で統計的に処理しま
す。回答いただいた方のプライバシーに関わる内容が公表されることは一切
ありません。

※回答いただいた調査票を本調査の目的以外に使用することはありませんの
で、お答えいただける範囲内でご回答ください。



WEBでの回答に ご協力をお願いいたします。

We have English, Chinese, Korean and Spanish
versions of this survey at the Citizens' Section.

芦屋市

※結婚、配偶者、親、子どもなどには、事実婚及びパートナーシップ・ファミリーシップを含みます。

I. あなた（回答者）のことにしておたずねします。

問1 年齢は、次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

- | | | | |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代 |
| 5. 50歳代 | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

問2 転入後のご家族の構成は、次のうちどれにあてはまりますか。（1つに○）

- | | | |
|---------------|---------------|-------------|
| 1. 単身世帯（1人） | 2. 配偶者のみ（一世代） | 3. 親と子（二世代） |
| 4. 親と子と孫（三世代） | 5. その他（
） | |

問3 ご家庭に同居のお子さんがいらっしゃる場合、次のどれにあてはまりますか。
（該当するものすべてに○）

- | | | |
|---------------|------------------|-------------------------------|
| 1. 乳幼児（3歳未満） | 2. 幼児（3歳以上の未就学児） | 3. 小学生 |
| 4. 中学生 | 5. 高校生 | 6. 大学生（短大・大学院・高専
・専門学校を含む） |
| 7. 社会人・アルバイト等 | 8. その他（
） | |

II. 今回の転入に関することにしておたずねします。

問4 転入前はどちらにお住まいでしたか。（ ）内にご記入ください。

（ _____ 都・道・府・県 _____ 市・町・村 _____ 区）・国外（ _____ ）

問5 この度の転入のきっかけは何ですか。（主な理由の1つに○）

- | | | |
|----------------|--------------|--------------|
| 1. 結婚 | 2. 子どもの出生・成長 | 3. 家族との同居・近居 |
| 4. 就職・転職・転勤 | 5. 退職 | 6. 入学・進学 |
| 7. 環境をよりよくするため | 8. その他（
） | |

問6 転入を検討する際に、検討した市区町村はありますか。

1. ある 2. ない 3. その他 ()

あると回答いただいた方へ。どちらをご検討されましたか (上位3市)。

1. () 2. () 3. ()

市・町・村・区 市・町・村・区 市・町・村・区

問7 A 引っ越し先を選択するとき、B 芦屋市に転入を決めたとき、重視した項目は何ですか。

(A、Bそれぞれにおいて特に該当するもの3つまでに○)

	A 引っ越し先を選択で重視 (3つまでに○)	B 芦屋市に転入を決めたときに重視 (3つまでに○)
1 自然環境が豊か		
2 まちなみが美しい		
3 通勤通学などの交通の便が良い		
4 日常生活の利便性が高い(買い物・病院・図書館等)		
5 災害に強い(自然災害の少なさや防災設備の充実など)		
6 犯罪件数や交通事故が少ない		
7 物価や住居費が安い		
8 子育て支援施策(支援金や見守り等)が充実している		
9 働きながら子育てできる環境(保育施設等)が整っている		
10 教育環境が充実している		
11 福祉サービスが充実している		
12 地域イメージが良い		
13 自分または家族が生まれ育ったところである		
14 親や子どもの家に近い		
15 住居を購入した(購入する予定がある)		
16 その他 ()		

問8 問7で選ばれた情報はどこから入手しましたか。(該当するものすべてに○)

1. 市の広報紙 2. 市のホームページ 3. その他インターネット

4. SNS(YouTube / Facebook / Instagram / Twitter 等) 5. テレビ

6. 新聞 7. 雑誌 8. 不動産情報紙

9. 知人からの情報 10. その他 ()

問9 今後の芦屋市のまちづくり全般について、期待することなどがございましたら、お聞かせください。

(例：まちなみ、行政による支援、情報の入手先に関するご意見など)



アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
 記入後は、北館1階受付付近、南館1階のエレベーター付近のアンケートの回収箱に
 投かんしてください(令和6年3月31日(日)まで)。
 企画部 市長公室 政策推進課 (0797-38-2127)